第14回 通常総会開く

全修協 2月22・23日熱海で

(財)全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)の第十四回通常総会は二月二十二日(水)と二十三日(木)の二日間、熱海市の新熱海ホテルに山本理事長ほか全役員、支部長、協力機関代表者百余名が参集して開かれる。第一日の二十二日は午後二時から同四時三十分まで総会、引き続いて五時三十分まで地区別会議が行なわれ、第二日の二十三日は午前八時三十分から全体会議を開いて同十時閉会する予定。

総会では一般会務報告のあと①四十七年度事業報告ならびに収支決算に関する件(会計監査報告)②四十八年度事業計画ならびに財政計画に関する件③(イ)四十八年度修学旅行の研究活動に関する件(ロ)第十七回教職員研修旅行に関する件などを審議決定する。

こんどの総会では三シーズン制をとった教職員研修旅行の定着化に組織総力をあげることが決定されるものとみられ、全修協運動は一段と活発化するものと期待される。

春秋で解消へ

関修委 来年度の新幹線輸送

関東地区中学校の来年度新幹線利用は十万三千八百名で八十三日間が必要、従来の期間内に輸送完了は困難となるため現在の午前八時十五分東京発のほかにもう一本午前十時前後の専用列車設置を要望することになり、十二月十九日、関修委高橋会長、高田運営委員長、荒幡委員、白滝全修協事務局長、岩崎同研究部長は国鉄首都圏本部東京中央販売センター常盤副所長と本社旅客局営業課千野補佐を訪ねて専用電車増設を陳情した。

それによると四十九年度の春は現行通り、秋は十時五分東京発の「こだま号」を利用して輸送困難を解消しようというもの。内訳は次のとおり。

【往路】▼東京発八・一五(ひかり四二一A)京都着一一・〇六＝四月十五日から同二十五日まで五月七日から七月五日まで七十一日間。▼東京発一〇・〇五(こだま四五七A)京都着一三・五六＝九月十日から同三十日まで十月一日から同十六日までの三十七日間。

【往路】▼京都発一三・二九(ひかり四三六A)＝春秋共通。

(写真は国鉄本社へ陳情する関修委の役員)

新年を迎えて

人間育成の機会を

関東・東海・近畿地区修旅委連絡協議会長
近畿修学旅行委員会委員長
久保田八郎

現在の学校教育の中で反省させられる点がいろいろありますが、その最たるものは、知育に偏し、真の人間としての教育に欠けていることではないかと思うのであります。その中でも心の豊かな人間作り、こうした分野が現在の教育で一番欠けているのではないでしょうか。

学校行事として位置づけられた修学旅行の目的が、得てして社会見学とか団体訓練とか、見聞による知識の開発のみに重点が置かれ、心の豊かな行事であることが忘れられ勝ちになっていることを私は非常に残念に思うのであります。修学旅行とは級友相つどい共同の目的をもって互に協力、助けあいながら寝食を共にする、しかも旅行という心からの楽しみの中で、心のふれあいが得られ、心の豊かさが培われる最善の場だと思うのであります。しかも生涯を通じて思い出となり、心のかてとなることでしょう。われわれ教育者はこうした教育の機会は絶対にのがすべきではなく、これが人間教育なのです。こうした修学旅行の目ざす所を現場の一人ひとりの先生が十分検討し自覚した上で計画実施されることが学校行事として位置づけられた教師の責任であり任務ではないかと思います。

われわれ修学旅行を援助、協力、助成または奉仕する各種の機関、また全修協のみなさん、明日への人間として成長して行く児童生徒のために、希望と楽しみをもってこの道の発展のため尽そうではありませんか。

躍進の年としたい

関東地区中学校修学旅行委員会長
高橋俊麿

あけましておめでとうございます。関修委の会長をお引き受けして、夢中ですごしているうちに、新しい年を迎えることになりました。何かとお世話になり厚くお礼を申し上げます。

思えば昨年の七月には、関東、東海、近畿地区修学旅行委員会の連絡協議会が誕生し、お互いに協力して今後の修学旅行改善のため運営に当たろうという強力な組織ができました。まことにご同慶にたえません。また、十一月には千葉県柏中学校での関修委創立十周年の式典と、併せて行なった修学旅行研究会は意義深い行事で忘れられぬ思い出であります。

これらの実績をふまえて四十八年度は関修委の躍進の年と考えられます。まず、われわれの最大の願いとして東京発午前十時半の「ひかり」を修学旅行列車として確保することを提案いたします。それが実現した際は参加生徒の数においても飛躍的に伸びるものと確信いたします。

どうぞ本会のますます発展のため各県の役員の方々はじめ、本部の皆さまの旧に倍するご協力を重ねてお願いいたし、今後の隆盛を祈念いたしまして新年のご挨拶とします。

修学旅行は公費で

東海三県修学旅行委員会
列車編成委員会委員長
桜井敬一

新春にあたり、今後の修学旅行は、こうありたいと思いながら筆をとる。一生の思い出になる貴重な体験を大切に育てることを念じながら…。交通機関も新幹線の利用によって、快適な旅となったものの、バスの故障、車の渋滞によって予定のコースをカットしなければならないのは残念である。整備点検を願い、曜日のことなどを考えて計画をたててほしい。

次に人間関係を育てるのに、これほどよい機会はない。無理な計画をたてず、余裕のあるコースで楽しかった旅にしたい。修学旅行専用の宿泊施設をもっとつくり、車中、宿泊の楽しさを味わせたいものだ。ゆったりと眠れる景の広さ、それに食欲をそそる食事にしたい。(料金は少し高くなっても)小中学生はおとなと違って、動くもの、近代的なものに憧れ、印象にのこるものである。都会の人は山野へ、あるいは計画性、自主性のあるグループによる自由行動なども研究していくべき時がきた。なにはともあれ、特急料金の全免、拝観料、駐車場、有料道路の特別割引など、残された問題が山積している。修学旅行の公費負担を志向しつつ。

昨年発足した関東、東海、近畿三地区修旅連絡協の使命は今後ますます重く、私たち役員も各地区の修旅委のかたがたと協力してこれら諸問題の解決のため努力したいとおもう。

自然を求める旅へ

あおぞら号近畿地区運営協議会長
乾英三郎

わたくしは、若い時から旅が好きでもあり、また、その機会にもめぐまれたので、全国くまなくとはいえないまでも、よく歩いたほうだと思う。しかし、最近はレジャー・ブームで、近代的な施設がつぎつぎとできるのは結構なことだが、それに比例して自然が喪われていくのは何とも残念でならない。修学旅行も人工的なものを見学するのがほとんどで、自然を観賞し、自然に親しむ余地が少なくなってしまった。

昨年六月、アテネを訪れたとき感じたのであるが、あの有名なゼウスの神殿あとは、野草がぼうぼうと茂っており、アクロポリスの丘は倒れた柱がそのままであり、石もすてであるようで、よく観察すると、自然の状態を維持しようと細心の配慮がなされているのに気付く。「国として売るもの」がなく、「観賞」はたいせつな資源の国だからといえばそうかも知れないが、自然を愛し、自然にあこがれたのは、ギリシャだけでなくわれわれの祖先も決してひけはとらなかったはずである。もっと「自然」を求めての旅ができるようにしたいものだと思う。

沢田三郎氏

全修協神奈川県支部長

一月二日午後十時四十分、脳塞血せん症のため横浜市・横浜共済病院で死去。(五六歳)。同十一日午後二時から県教育会館で県労組評議会、県教組などの合同追悼葬が営まれる。

昭和十一年神奈川師範卒、県内各学校を歴任後、神教組中央執行委員長、県労組評議会議長、県労済などの理事長として活躍中だった。修学旅行と研修旅行の指導者として全修協でも重要な地位にあり、大きな業績を残した。

佐藤哲衛氏

十二月二十九日午後十時、交通事故のため死去。(六三歳)葬儀と告別式は三十一日午前十時から東京・練馬区の称名寺で近畿日本ツーリスト株式会社葬として執り行なわれた。全修協からは山本種一理事長の代理として白滝事務局長、ほか各部長も列席した。

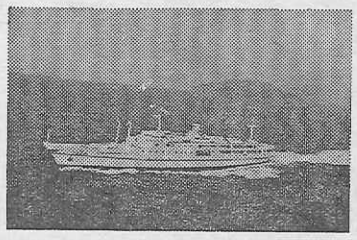
旧東北帝大付属中等教員養成所卒、奈良県内で教壇に立ち、県教組執行委員長、県教育委員、山本理事長とともに全修協の設立に参画、初代事務局長を経て奈良県支部長に就任。のち近畿日本ツーリストに入社、各営業所長を歴任、研修所長。修学旅行の改善指導、研修旅行の強化拡大に大きな功績を残し、その急逝は各方面から惜しまれている。

転居

▼村井助雄氏(全修協常務理事福岡県支部長)(814)福岡市西区野芥字永島五七三一一(電話〇九二一八〇一一五九八)へ。

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸 (旅客定員 1,800名 3,000トン)



見ているだけで、心が大きく広がる海——
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。

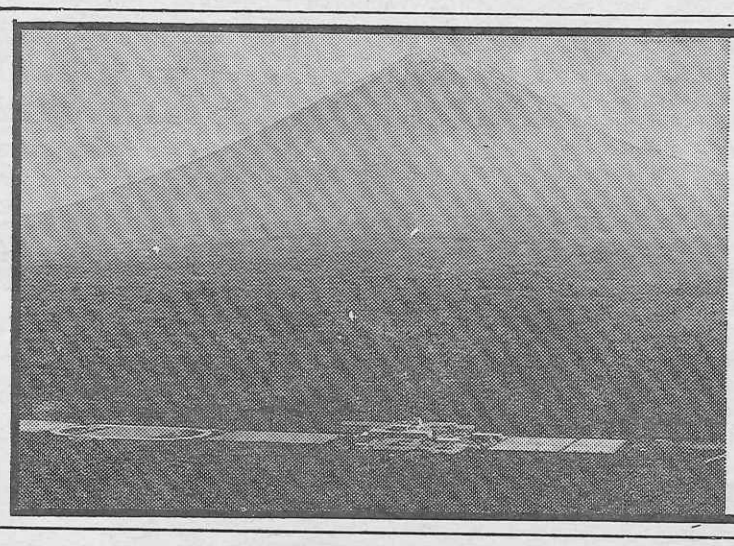
●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講議用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店 東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911

全国各地 小中高校 全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
(京都駅新幹線口の南西)
株式会社 教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539



富士山北ろく・緑の中の休暇村!!

いま　修学旅行のために大自然をそのままうけついだ施設づくりが生きてます。

富士山北ろく、青木ヶ原樹海の中に富士緑の休暇村があります。ロッジ、セミナーハウスを中心に、各種のスポーツ施設を備えた休暇村は、修学旅行に最適の施設です。5月にはロッジ新館、体育館もオープンします。

●富士緑の休暇村の施設
ロッジ(710人収容)・セミナーハウス(8室、最高500席まで)・大食堂(500～700席)・展望浴室(150人同時入浴可能)・サッカー場(2面)・テニスコート(10面)・バレー、バスケットコート(各1面)・ソフトボール場・400mトラック(1面・緑の広場・キャンプファイヤー場

富士緑の休暇村

総合予約センター　☎ 05557－2－2236／東京☎ 463－2236
大阪☎ 313－2236／静岡 55－2236

あすの富士山をつくる富士観光開発

新年を迎えて

教育界へ貢献

高橋　堯

全修協も年を重ねること十数七年となり、いよいよ仕事も軌道にのって発展を続けているとはまことにおめでたいといわなければなりません。

公益事業的性格をもつ協会をここまで維持発展をさせることは並大抵の努力ではできないことで、山本理事長の人格識見はもちろんですが、白滝事務局長以下職員の企画実践の力の賜物と敬意を表する次第であります。

教職員はその仕事の性質上、他の職業よりも広く実社会の文化にふれ、史跡の調査や地理の研究が必要なことはいうまでもありませんが、なかなかその機会に恵まれないわけです。全修協がそうした機会を作り、便宜を与え、その効果をあげることに努力してくれていることは単に教職員の研修のためのみでなく、教育全般に貢献することが大きいといわなければなりません。

（全修協秋田県支部長）

感銘得る旅行

菅原　孝

ちかごろの観光地はスカイラインぼやりで、美しい景色を存分に見せてくれるのはありがたい。

しかし展望台で眺める景色は、むかし歩いて登ったそれにくらべて感銘がなんとなくうすい。

北富士スカイラインの五合目の眺望の感じが、私としては代表的な印象として残っている。とてもむかしの富士山にはよばない。

なぜだろうか。汗にまみれた末に得たものは貴く、苦労しないで得たものは、それほどありがたくない。

そのこととはべつに、多勢でみるとよいものと、ひとりでみるとよいものとがある。そのときの心理状態にもよるのだろうが、野球やすもうの見物は前者であり、風景や美術の観賞は後者であると思われる。

われわれが旅行を企画し、実施するうえにおいては、このようなことも配慮して、参加者のひとりひとりが、大きな感銘を得るような生き生きとしたものにしたい。

（全修協中央研修部代表幹事・静岡県教職員互助組合事務局長）

牛にあやかる

田尻　貴

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭にあたり、全修協がさらに輝きある歴史を積みあげることを念ずるとともに、全国の皆さまのご健康をお祈りいたします。

昨年は交通上にも変事がつづき年末には総選挙と、あわただしく駆け去りました。

今年は牛の年にあやかってドッシリとユックリと正しく清く大地をふみしめて行きたい。そうして明るく楽しい年であることを祈りたいと思います。

（全修協宮崎県支部長）

人間形成の場

西岡権治郎

謹んで新春のおよろこびを申しあげます。

生徒の修学旅行に貢献された功績はまことに偉大なるものがあると信じ、心から敬意を表する次第であります。

修学旅行を快適なものとし、児童生徒の学習を結びつけられた功績はその最たるものと存じます。

さらに児童生徒のモラルを高め修学旅行を人間形成の場として研究をすすめ計画していく仕事はまだ残されているように思います。

本年はさらにこの方面まで発展されますようお祈りして祝詞にかえさせていただきます。

（全修協大阪支部長）

退職者組織を

糸井　一

明けましておめでとうございます。激動の年とそ、やり甲斐のある年でありましょう。京都ではいま、退職教職員の組織にとりくみ、また、互助組合を教職に就いたときから生涯を終わるまでの組織にすることを考えています。

現職者の意欲を退職者の経験を結合する体制をつくりあげ、教育運動の一環である全修協運動に参加し貢献したいと念願しています。

（全修協京都府支部長）

がんばりの年

伊藤　喜蔵

全修協青森県支部結成いらい十六年、どちらかといえば活動は低調であったと反省している。東北地方の修学旅行専用列車設置については当支部の折衝で利用債引受けまでこぎつけたが、東北の足並みがそろわず流産し、別な案で運行された。残念な気持でこれを見ている。

教職員研修旅行もあまりよい成績ではなかったが、万国博研旅だけは企画が早かったこともあって多数の参加者があり、内容も吟味しただけに好評だったのがせめてものささやかな誇りとしている。

輝かしい七十三年を迎え、全修協設立の本旨をよくかみしめ青森県支部の遅れをとり戻すべく念願しています。

（全修協中央研修部幹事・青森県教育厚生会専務理事）

新時代の研旅

山本　亮

明けましておめでとうございます。創立十六周年、協会のご発展を先ずもってお喜び申しあげます。

協会において常に新しい時代に即応した研修旅行を通じて、わたくしたちが祖先からうけ継いできた美しい国土と民族文化を認識し後の世代に伝えるために、教職員に自己研修の機会と生徒児童の修学旅行の改善に不断のご努力を積みあげてこられましたことに対して深い敬意を抱き、もっともっと協力をしなければと思いながらも諸事に追われ、日常活動の不足から協会のみなさんになにかと大変なご迷惑をおかけしていますことを心苦しく存じています。

島根県としても本年こそは大いにがんばりたいと思います。

新しい年を迎えまして、心気一転、努力したいと考えていますので、先輩諸賢のご指導とご鞭撻をお願い申しあげます。

（全修協中央研修部幹事・島根県学生協常務理事）

おことわり　「新年を迎えて」は紙面の都合で次号にも掲載しますのでご諒承ください。

近江路散歩 ④

湖東の文化財めぐり

渡辺　守順

新幹線を利用すれば東京からでも岡山からでも日帰り観光ができる琵琶湖周辺で、もっとも魅力があり、静寂を満喫できるのは井沢大老の彦根城のある町と、湖東三山と称される天台文化の国宝の寺々である。

東海道線の米原駅をおりると名園で知られた青岸寺が駅前のつきあたりにあり、番場の忠太郎で知られた蓮華寺には北条仲時ほか四百三十余人の遺体を葬る墓があり、重要文化財の「六波羅南北過去帳」にその戦死者の名をしるしている。最近この寺に斎藤茂吉の歌碑ができた。

茂吉の幼い日の師の住寺だからである。番場は中仙道で、ここから摺針峠をこすと鳥居本の宿である。神教丸本舗の旧家がある旧道を行くと歌舞伎の法界坊の寺、上品寺がある。鳥居本から見える佐和山は石田三成の居城であった。落城をくわしく描写した『おあん物語』（岩波文庫）を読むと女郎谷の悲鳴が聞えてくるようだ。

佐和山の西麓には井伊家ゆかりの清凉寺、滝凉寺、井伊神社大洞弁天堂、すこし南にはなれて天寧寺がある。いずれも文化財と史話にとむ寺社である。とくに、滝凉寺はすばらしい庭があり、芭蕉の十人の弟子の一人森川許六の襖絵がある。大洞弁天堂の山門を額縁に見たててみた彦根城はすばらしい。

国宝の天守閣には三千五万石の井伊家の財政で建てながら、普請奉行ができる限り豪華に見せようと苦心した知恵が石垣に柱に、千鳥破風、華灯窓、鉄砲狭間などに見られる。城郭の美術的建築技術に驚嘆したい。三重櫓、天秤櫓、西の丸、鐘の丸、お馬舎、表門櫓、犬走り、そして、楽々園、八景亭など、どこにも歴史の跡があざやかである。城下町には旧家も多いし、刀工虎徹井戸、許六の五老井跡、明照寺の芭蕉の笠塚、宗安寺の木村重成首塚など史跡が限りなくある。

鐘の丸から廊下橋にかかる右手に蕪村の句碑がある。

鮒しや彦根の城に雲かかる

（蕪村）

彦根から旧中仙道を高宮へでると、多賀大社がある。古い庭園がある。伊勢神宮にまつる天照大神の両親である伊邪那岐、伊邪那美の二神をおまつりする。神話の世界である。敏満寺という古い有力な寺があったが、礎石だけしかない。俊来坊重源が東大寺再建の勧進のため延命祈願をして霊験があった話が伝わり、重要文化財に指定された銅製五輪塔に重源施入の銘がある。

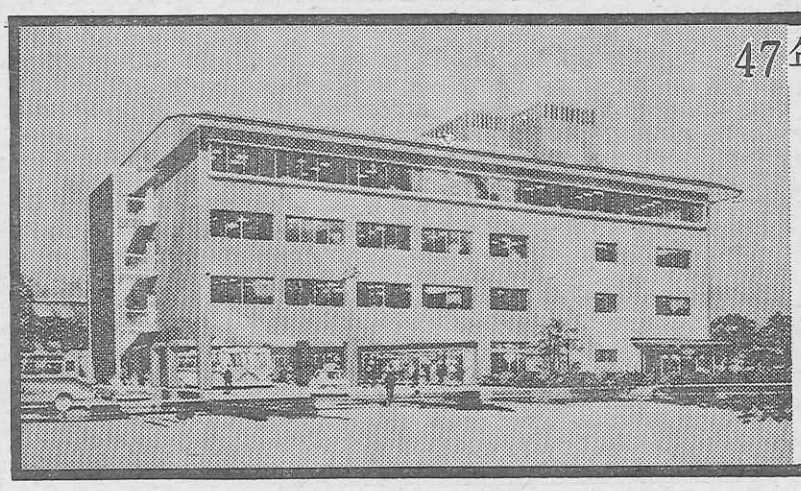
湖東三山は北から西明寺。本堂と三重塔がともに鎌倉和様建築の代表的なもので、じつにすばらしく、蔀戸、折上小組格天井、吹寄格子などの巧みさが筆舌につくせない。薬師寺如来立像、二天王立像、不動明王ほか四日結が外護者であった近江源氏佐々木との深い関係を示し、本坊の庭も立派である。百済寺も名刹の貫録を示す。昭和にできた大庭園の石と池が自然の山肌とマッチして、七堂伽藍を誇って栄えた往古をしのばせる。

この近くの甲良大工は日光東照宮を建てたというし、勝楽寺にあるくずれかけた墓のあるじは佐々木道誉で、婆羅大名で北条氏が鎌倉で執権として天下をおさえたころ、重要な職について、政見をはいていた。また、豊郷町からは伊藤忠兵衛などの近江商人がでたところなので、豪華な蔵屋敷の家が点在し、平和な湖東独特の風物をのこしている。

（つづく）

（能登川高校教諭。写真は彦根城）

47年3月1日オープン　空も澄む近江路の旅



〈収容〉800名様
〈食堂〉550名席
〈浴場〉1時に150名
〈設備〉全館冷暖房
〈防災〉諸施設完備

《予約受付中》

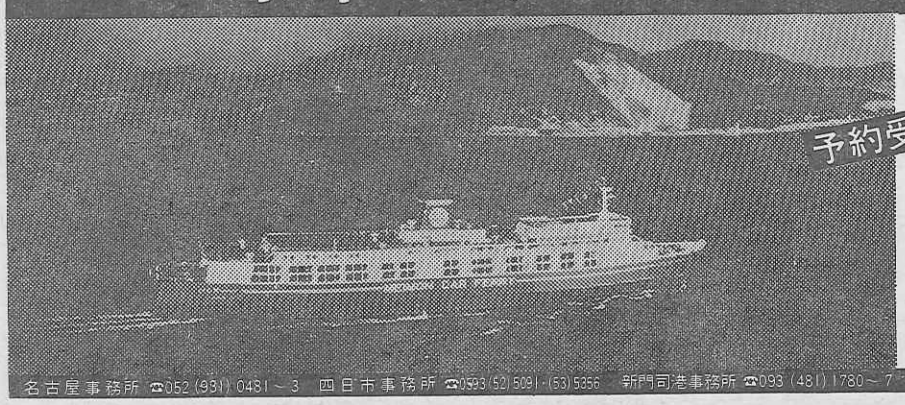
修学旅行の専用ホテル

大津市におの浜3丁目1－4

びわ湖ツーリスト・ホテル

電話　大津(0775)24－2321(代表)
大津(0775)23－0408(直通)

豪華フェリーで思い出の修学旅行に！



予約受付中

●船舶概要　旅客　594人
設備　冷暖房完備、レストラン、ラウンジ、ゲームコーナー、売店、浴室、公衆電話、VTR等

48年3月より就航
新門司 ― 瀬戸内航路14時間 ― 大阪(南港)
新門司 ― 黒潮航路20時間 ― 四日市 ― 名古屋
就航中

名門カーフェリー

本社　京都市中京区新町通四条上ル　☎075(221)7747～8

名古屋事務所 ☎052(931)0481～3　四日市事務所 ☎0593(52)5091・(53)5356　新門司港事務所 ☎093(481)1780～7　小倉営業所 ☎093(551)0762・0793　東京事務所 ☎03(212)1546～7　川崎営業所 ☎044(32)3726